(第1面)

産業廃棄物処理計画書

2025 年 6月 19日

神戸市長 宛

提出者

住所 東京都杉並区高井戸東3-8-13NA F第3ビル

氏名 ケンコーマヨネーズ株式会社

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 03-5962-7777

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他 その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事	業	場	の	名	称	69 J 050 1	.053	ケンコーマヨネーズ	株式会社	西神戸工場			
事	業	場の	り所	在	地	神戸市西区	申戸市西区高塚台7丁目2番2号						
計		画	期		間	令和7年4月	今 和7年4月1日~令和8年3月31日						
当意	亥事業	美場に	おいて	て現に	-行·	っている事	業に関	する事項					
	①事	業の種	種類)食料品製造業 0934ソース製造業 0995冷凍調理食品製造業 196そう(惣)菜製造業						
	②事	業の	規模			製造品出荷	·額	12,221百万円	(令和	6年度実績)			
	③従業員数					248名							
		業廃り	乗物の工程)一連		「別紙1」	参照						

産業	養廃棄物の処理に係る	る管理体制に関する事項							
	(管理体制図)								
	「別紙2」参照								
産業	・ 	制に関する事項							
		【前年度(令和 6年度							
	産業廃棄物の種類								
		排出量	別紙3 参照 t	t					
	①現状	(これまでに実施した耳	文組)	1					
		第2面~第5面の内容に~	ついては「別紙3」を参り	民					
		【目標】							
		産業廃棄物の種類							
		排出量	t	t					
	②計画	(今後実施する予定の耳	文組)						
产业	 	よろ事項							
	R. A. W. O. D. M. C. B. J.	T		 する取組)					
		()()()()		, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,					
	415 A								
	①現状								
		(今後分別する予定の産	業廃棄物の種類及び分別	別に関する取組)					
	②計画								

自身	っ行う産業廃棄物の再	再生利用に関する事項		
		【前年度(令和年月	度) 実績】	
		産業廃棄物の種類		
		自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	①現状	(これまでに実施した耳	· 文組)	•
		【目標】		
		産業廃棄物の種類		
		自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	②計画	(今後実施する予定の)	· 文組)	•
自身	っ行う産業廃棄物の「	中間処理に関する事項		
		【前年度(令和 年月	またまた。	
		産業廃棄物の種類		
		自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	①現状	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
		(これまでに実施した即	文組)	
		【目標】		
		産業廃棄物の種類		
		自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	②計画	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
		(今後実施する予定の即	文組)	

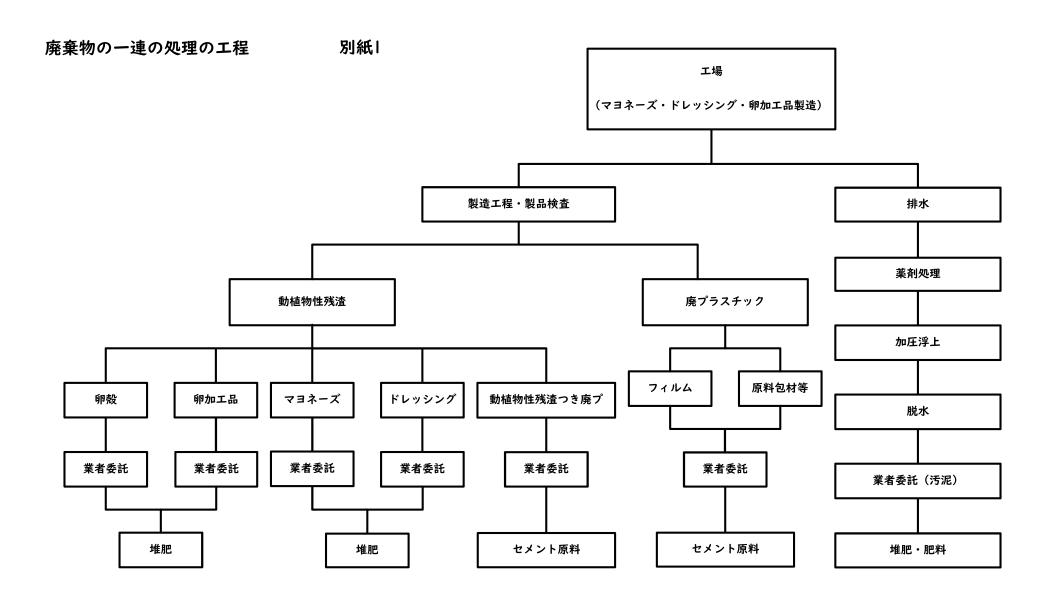
自身	っ行う産業廃棄物の場	里立処分又は海洋投入処	分に関する事項	
		【前年度(令和 年度	度) 実績】	
		産業廃棄物の種類		
		自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量		t
	①現状	(これまでに実施した耳	文組)	•
		【目標】		
		産業廃棄物の種類		
		自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量		t
	②計画	(今後実施する予定の耳	文組)	•
	 	4に関する事項		
<u>/</u> ±.7		1		
		産業廃棄物の種類		
		全処理委託量		t t
		優良認定処理業者への 処理委託量		t
		再生利用業者への 処理委託量		t
	①現状	認定熱回収業者への 処理委託量		t
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量		t
		(これまでに実施した耳	文組)	

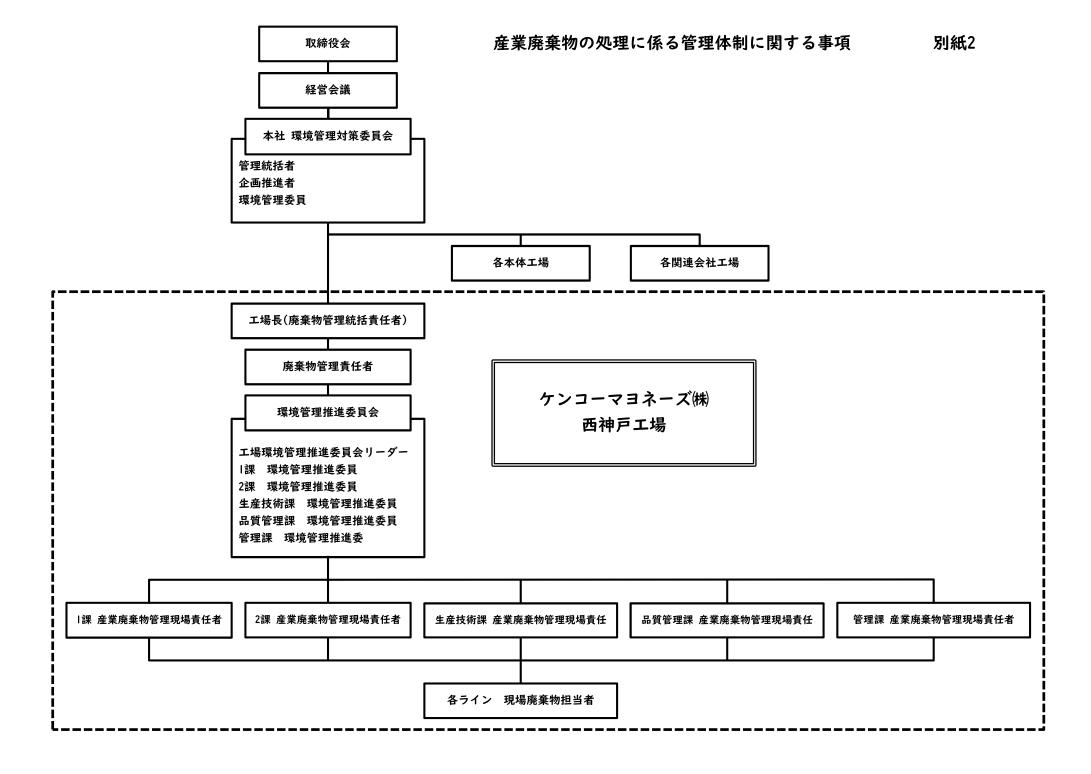
(第5面)

(第5回)							
	【目標】						
	産業廃棄物の種類						
	全処理委託量	t	t				
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t				
	再生利用業者への 処理委託量	t	t				
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t				
②計画	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t				
	(今後実施する予定の耳	(今後実施する予定の取組)					

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
- (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
 - 7 ※欄は記入しないこと。





別紙3 産業廃棄物処理計画書 第2面~第5面

 の抑制に関する事項								
【前年度(令和 6 年度)実績】								
産業廃棄物の種類	0200 汚泥	1000 動植物性	生残渣	0600 廃プラス 類	チック			
排出量	3, 395 t	2, 334	t	43	t			
(これまでに実施した取	(組)							
② 廃棄卵・卵殻除水に。 ③ 生産に用いる配管径	① 製品歩留まり向上の取り組みによる廃棄量削減 ② 廃棄卵・卵殻除水による廃棄量の削減 ③ 生産に用いる配管径・配管経路短縮による廃棄量の削減 ④ 配管残の製品回収による廃棄量の削減							
【目標】								
産業廃棄物の種類	0200 汚泥	1000 動植物性	生残渣	0600 廃プラス 類	チック			
排出量	3, 328	2,300	t	40				
① 生産品目の統廃合に。 ② 廃棄卵・卵殻除水に。 ③ 生産に用いる配管径	(今後実施する予定の取組) ① 生産品目の統廃合による切替えロスの削減 ② 廃棄卵・卵殻除水による廃棄量の削減 ③ 生産に用いる配管径・配管経路短縮による廃棄量の削減 ④ 配管残の製品回収による廃棄量の削減							
に関する事項								
(分別している産業廃棄	物の種類及び分別に	関する取組)						
(今後分別する予定の産業	業廃棄物の種類及び分							
① 廃棄物別に番号管理をして、分別の徹底を継続する ②計画 ② 廃棄物の保管場所についての見取図を掲示し、周知を行う 棄物分別スタッフとの情報共有による分別の細分化								
	産業廃棄物の種類 排出量 (これまでに実施した取 ① 製品歩卵・卵殻除ででででででででででででででででででででででででででででででででででで	産業廃棄物の種類 0200 汚泥 排出量 3,395 t (これまでに実施した取組) ① 製品歩留まり向上の取り組みによる廃棄量の廃棄卵・卵殻除水による廃棄量の削減 3 生産に用いる配管径・配管経路短縮による 配管残の製品回収による廃棄量の削減 [目標] 産業廃棄物の種類 0200 汚泥 排出量 3,328 t (今後実施する予定の取組) ① 生産品目の統廃合による切替えロスの削減 2 廃棄卵・卵殻除水による廃棄量の削減 3 生産に用いる配管径・配管経路短縮による 配管残の製品回収による廃棄量の削減 3 生産に用いる配管径・配管経路短縮による 配管残の製品回収による廃棄量の削減 [1に関する事項 (分別している産業廃棄物の種類及び分別に 1 廃棄物別に番号管理をして、分別の徹底を 2 廃棄物の保管場所についての見取図を掲示 (今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に 1 廃棄物別に番号管理をして、分別の徹底を 2 廃棄物の保管場所についての見取図を掲示	産業廃棄物の種類 0200 汚泥 1000 動植物付排出量 3,395 t 2,334 (これまでに実施した取組) ① 製品歩留まり向上の取り組みによる廃棄量削減② 廃棄卵・卵殻除水による廃棄量の削減③ 生産に用いる配管径・配管経路短縮による廃棄量の削減④ 配管残の製品回収による廃棄量の削減 【目標】	産業廃棄物の種類 0200 汚泥 1000 動植物性残渣 排出量 3,395 t 2,334 t (これまでに実施した取組) ① 製品歩留まり向上の取り組みによる廃棄量削減 ② 廃棄卵・卵殻除水による廃棄量の削減 ③ 生産に用いる配管径・配管経路短縮による廃棄量の削減 ④ 配管残の製品回収による廃棄量の削減 【目標】	産業廃棄物の種類 0200 汚泥 1000 動植物性残渣 0600 廃プラス 類 排出量 3,395 t 2,334 t 43 (これまでに実施した取組) ① 製品歩留まり向上の取り組みによる廃棄量削減 ② 廃棄卵・卵殻除水による廃棄量の削減 ③ 生産に用いる配管径・配管経路短縮による廃棄量の削減 ④ 配管残の製品回収による廃棄量の削減 【目標】 産業廃棄物の種類 0200 汚泥 1000 動植物性残渣 0600 廃プラス 類 40 (今後実施する予定の取組) ① 生産品目の統廃合による切替えロスの削減 ② 廃棄卵・卵殻除水による廃棄量の削減 ③ 生産に用いる配管径・配管経路短縮による廃棄量の削減 ④ 配管残の製品回収による廃棄量の削減 ④ 配管残の製品回収による廃棄量の削減 ① 原薬物・卵殻除水による廃棄量の削減 ① 原薬物・卵殻除水による廃棄量の削減 ② 廃棄がの製品回収による廃棄量の削減 ① 配管残の製品回収による廃棄量の削減 ① 配管残の製品回収による廃棄量の削減 ① 配管残の製品回収による廃棄量の削減			

	(第3面)								
自身	自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項								
		【前年度(令和年度	E) 実績】						
		産業廃棄物の種類							
	①現状	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t	t				
		(これまでに実施した耳	文組)						
	【目標】								
		産業廃棄物の種類							
	②計画	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t	t				
		(今後実施する予定の取	文組)						
自	・ う行う産業廃棄物の「	中間処理に関する事項							
		【前年度(令和 6年度	き) 実績】						
		産業廃棄物の種類	0200 汚泥						
		自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t	t				
	①現状	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	2,783 t	t	t				
		(これまでに実施した耳	文組)						
	① 汚泥の脱水施設メンテナンス強化 ② 使用薬品の見直し ③ (脱水後)汚泥除水による廃棄物量の削減								
	【目標】								
		産業廃棄物の種類	0200 汚泥						
		自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t	t				
	②計画	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	2,740 t	t	t				
		(今後実施する予定の耳							
		① 汚泥の脱水施設メン ② 使用薬品の見直し ③ 微生物製剤投与によ							

		(第4面)							
ら行う産業廃棄	物の埋立処分又は海洋投入処分	に関する事項							
	【前年度(令和 年度)	実績】							
	産業廃棄物の種類								
①現状	目ら理立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t	1					
	(これまでに実施した取	組)							
【目標】									
	産業廃棄物の種類								
②計画	目り埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t	1					
	(今後実施する予定の取組)								
 業廃棄物の処理	 !の委託に関する事項								
	【前年度(令和 6年度)								
	産業廃棄物の種類	0200 汚泥	1000 動植物性残渣	0600 廃プラスチック 類					
	全処理委託量	t	t	1					
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	1					
	再生利用業者への処理委託量	612 t	2,334 t	43					
①現状	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t					
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t	t					
	(これまでに実施した取締	組)		I					

		(第5面)			
	【目標】				
	産業廃棄物の種類	0200 汚泥		1000 動植物性残渣	0600 廃プラスチック 類
	全処理委託量		t	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量		t	t	t
	再生利用業者への 処理委託量		t	t	t
②計画	認定熱回収業者への 処理委託量	600	t	2,300 t	40 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量		t	t	t
	(今後実施する予定の町 ① 産業廃棄物処理施設 ② 産業廃棄物取集・運 ③ 優良認定取得業者の ④ 産業廃棄物から有価 ⑤ 廃棄物(動残)の適 ⑥ アップサイクル素材	の現地確認実施 搬業者及び処分業者 回収ルート開拓 物として回収可能な 度な除水			